

巻頭言

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-09-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 布川, 日佐史 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00009140

巻 頭 言

2006年度は経済学科内において経済研究センターをまとめ役として、学部内裁量経費および学科内競争的配分経費をもとに、下にあげた4つの研究プロジェクトが取り組まれた。また、外部資金を受けた研究プロジェクトも展開している。地域研究チームがトヨタ自動車株式会社及び富士スピードウェイ株式会社と共同で行った研究などである。

今年度の研究叢書はこれらの共同研究の成果の集成である。いずれも変容する地域社会が直面する課題に真正面から立ち向かい、新たな分析手法や分析枠組みを作り出そうと努力してきたものである。

経済学科内の三つのコースをもとにしつつも、コースをまたがる形で多様なテーマの共同研究が進み始めたことの意味は大きい。地域からの要請にこたえるという言葉はスローガンとしてはよく聞くが、実際にしっかりした研究成果に結びつけるのはたやすいことではない。共同で課題に取り組むという動きが学科内に定着しつつあるのは意義深いことである。

経済研究センターが共同研究の要の役割を果たしたかという点、不十分な点が多々残った。次年度には年度末に研究成果をまとめるだけでなく、プロジェクトの進行過程において意見交換の場をオープンな形で持つなど、研究をより充実させるきっかけ作りに努めたい。

	テーマ	代表
1	静岡 SD モデルによる静岡県の人口動態と地域社会の変容の分析	山下隆之
2	ヒアリング調査に基づく地域観光モデルの構築と地域観光支援策の検討	野方 宏
3	静岡県における中小企業経営の特徴と先進性の研究	大橋慶士
4	企業の正当性(Legitimacy)に関する研究	田島慶吾

2007年3月
経済研究センター長
布川 日佐史